

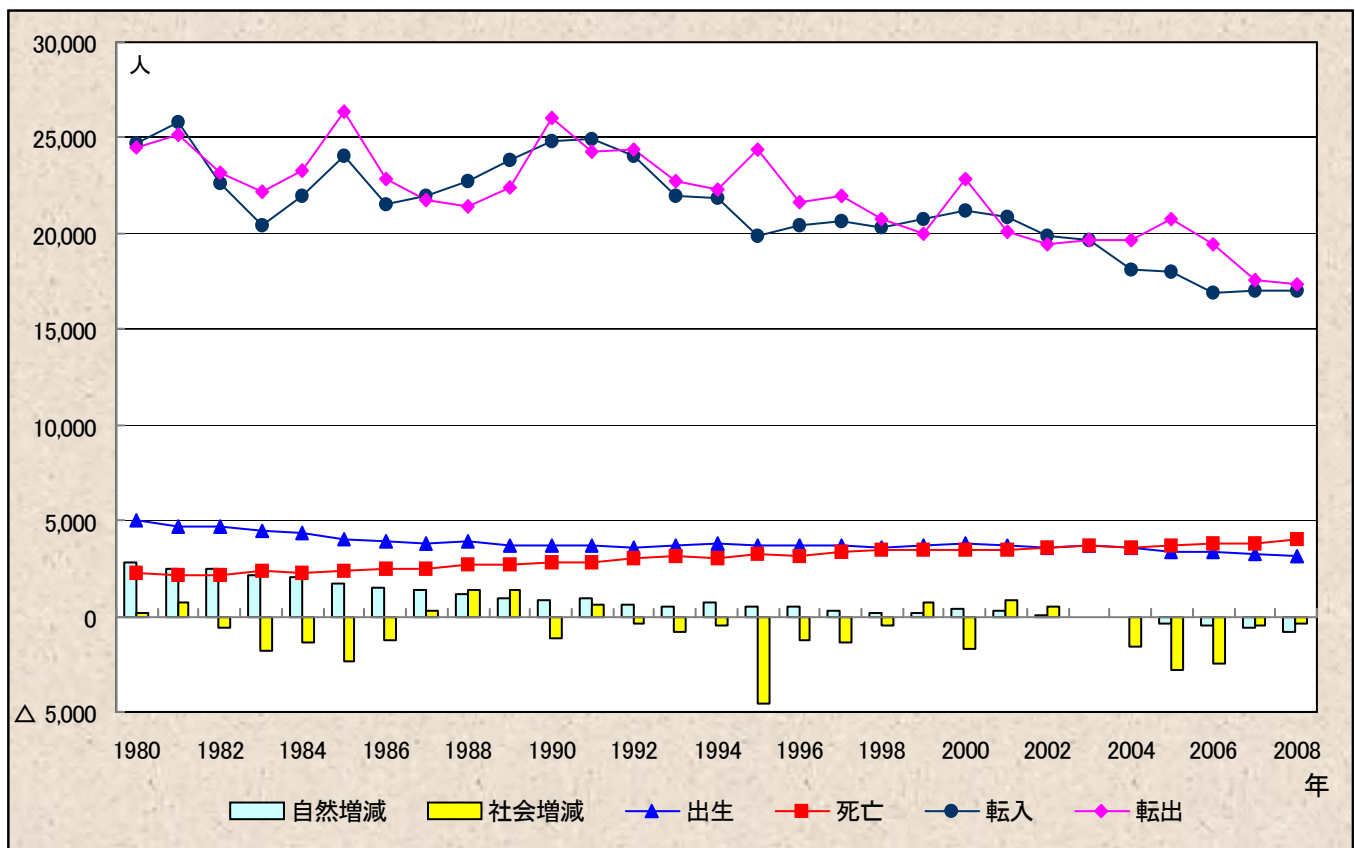
人口等に関する資料

(頁)

1	横須賀市の人口移動の推移	1
2	藤沢市の人口移動の推移	3
3	横須賀市の合計特殊出生率の推移	5
4	郊外住宅地の世帯等に関する調査結果（抜粋）	6

平成 22 年（2010 年）2 月
横須賀市都市政策研究所

1 横須賀市の人口移動の推移



出所：「横須賀市統計書」をもとに作成

- 2004年以降、死亡数が出生数を上回り「自然減」となっている。
- 2007年、2008年は、転入数、転出数の差が縮まり、若干の「社会減」となっている。
- 2007年、2008年は、自然減が社会減を上回っている。
- 高齢化により、今後も自然減の状態が続くと予測される。
- しかし、人口移動全体で見れば、社会増減の規模が自然増減の規模を大きく上回るので、社会増減をコントロールすることが大きな課題。
- 転出抑制と転入促進の施策は重要。
- 特に、若い世代の転入は、自然減への対策にもつながる。

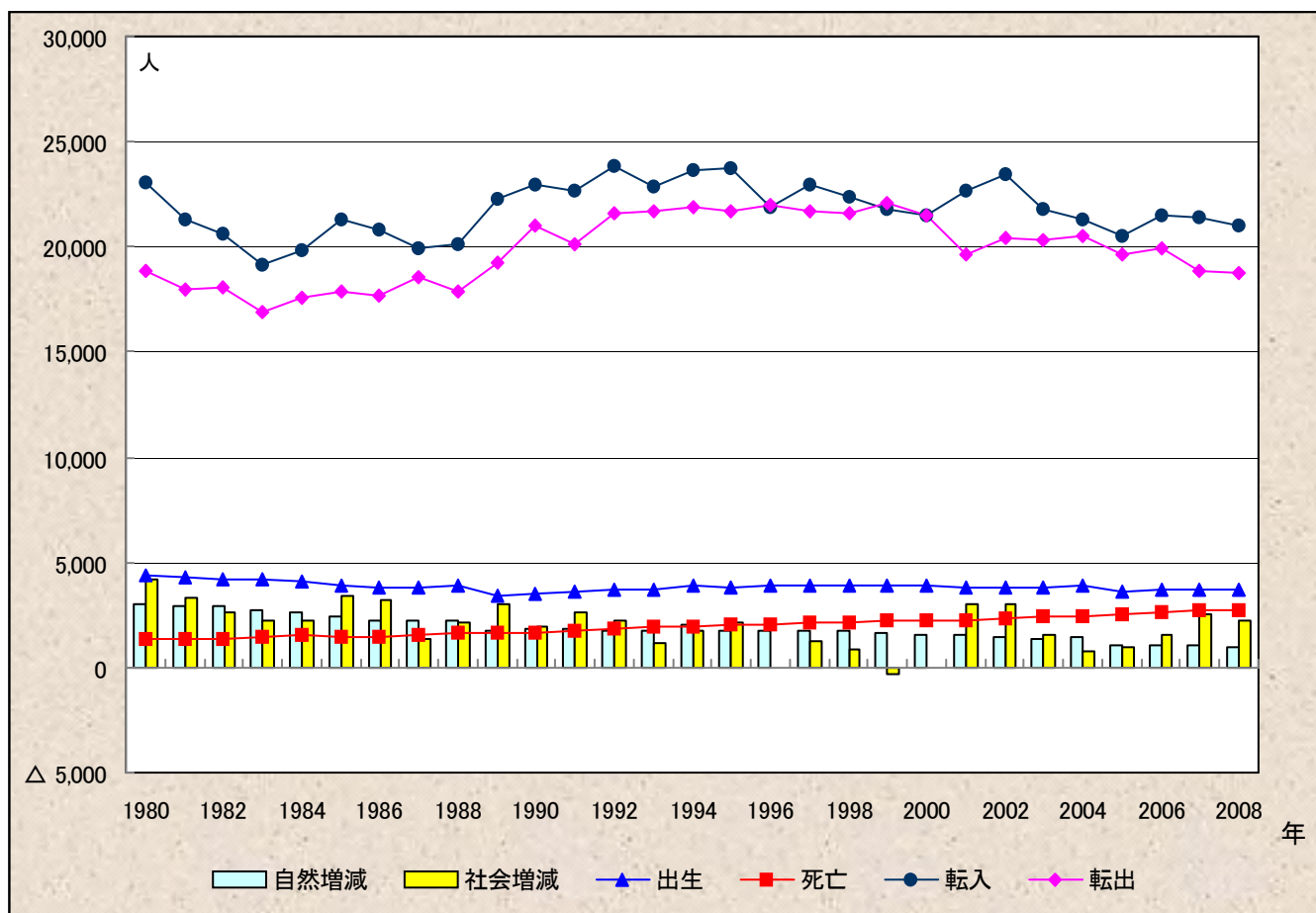
(単位 人)

年		人口	自然増減			社会増減			人口増減
			出生	死亡	増△減	転入	転出	増△減	
1980	昭和55年	420,130	5,021	2,241	2,780	24,679	24,496	183	2,963
1981	昭和56年	421,752	4,668	2,138	2,530	25,807	25,132	675	3,205
1982	昭和57年	424,952	4,708	2,209	2,499	22,631	23,220	△ 589	1,910
1983	昭和58年	426,862	4,481	2,375	2,106	20,419	22,183	△ 1,764	342
1984	昭和59年	427,204	4,326	2,300	2,026	21,940	23,310	△ 1,370	656
1985	昭和60年	427,860	4,065	2,393	1,672	24,002	26,362	△ 2,360	△ 688
1986	昭和61年	427,172	3,954	2,446	1,508	21,510	22,805	△ 1,295	213
1987	昭和62年	427,385	3,851	2,506	1,345	22,001	21,706	295	1,640
1988	昭和63年	429,025	3,881	2,740	1,141	22,733	21,400	1,333	2,474
1989	平成元年	431,499	3,683	2,713	970	23,840	22,420	1,420	2,390
1990	平成2年	433,899	3,676	2,860	816	24,839	26,022	△ 1,183	△ 367
1991	平成3年	433,522	3,729	2,820	909	24,894	24,233	661	1,570
1992	平成4年	435,092	3,639	3,064	575	24,099	24,429	△ 330	245
1993	平成5年	435,357	3,676	3,142	534	21,935	22,752	△ 817	△ 283
1994	平成6年	435,054	3,768	3,056	712	21,846	22,317	△ 471	241
1995	平成7年	435,295	3,728	3,238	490	19,913	24,426	△ 4,513	△ 4,023
1996	平成8年	431,272	3,644	3,167	477	20,437	21,652	△ 1,215	△ 738
1997	平成9年	430,534	3,705	3,404	301	20,590	21,917	△ 1,327	△ 1,026
1998	平成10年	429,506	3,627	3,482	145	20,269	20,802	△ 533	△ 388
1999	平成11年	429,120	3,694	3,467	227	20,707	19,983	724	951
2000	平成12年	430,071	3,806	3,452	354	21,158	22,812	△ 1,654	△ 1,300
2001	平成13年	428,771	3,748	3,504	244	20,876	20,092	784	1,028
2002	平成14年	429,799	3,634	3,610	24	19,918	19,427	491	515
2003	平成15年	430,314	3,714	3,708	6	19,631	19,677	△ 46	△ 40
2004	平成16年	430,274	3,532	3,629	△ 97	18,101	19,690	△ 1,589	△ 1,686
2005	平成17年	428,588	3,354	3,747	△ 393	18,004	20,792	△ 2,788	△ 3,181
2006	平成18年	425,407	3,391	3,833	△ 442	16,890	19,400	△ 2,510	△ 2,952
2007	平成19年	422,455	3,303	3,849	△ 546	17,046	17,558	△ 512	△ 1,058
2008	平成20年	421,397	3,173	4,039	△ 866	16,997	17,341	△ 344	△ 1,210

1)人口は、毎月人口調査の各年1月1日現在人口。

2)移動人口は、毎月人口調査の各年中移動人口(昭和55年～平成17年の社会増減は国勢調査人口より修正)。

2 藤沢市の人口移動の推移



出所：「藤沢市統計年報」をもとに作成

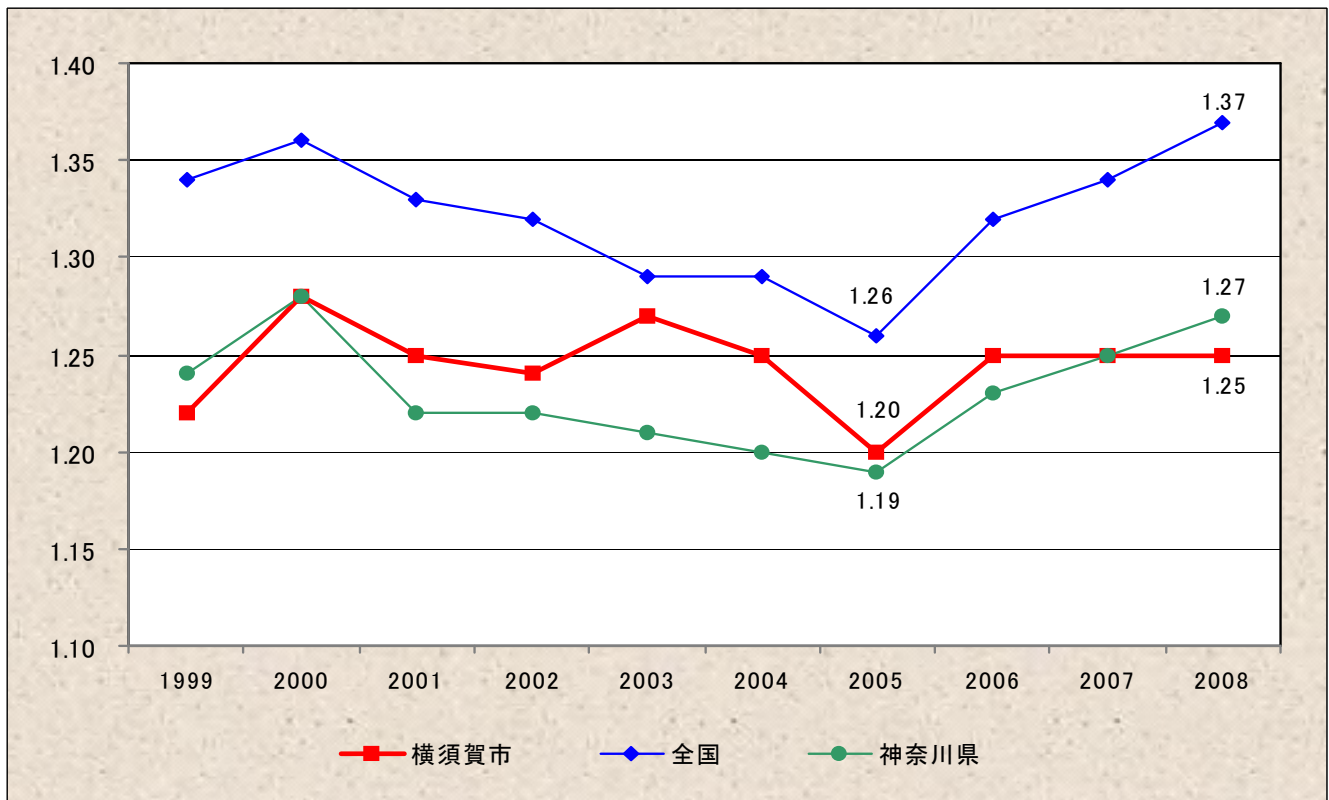
- 出生数と死亡数の差は縮小しているものの、「自然増」の状態を維持している。
- ほぼ一貫して、転入が転出を上回り、「社会増」の状態が続いている。
- 本市とは対照的に、人口が増え続けている。

(単位 人)

年	人口	自然増減			社会増減			人口増減	
		出生	死亡	増△減	転入	転出	増△減		
※ 1980	昭和55年	300,248	4,385	1,329	3,056	23,073	18,846	4,227	7,283
	1981 昭和56年	306,982	4,282	1,354	2,928	21,273	17,992	3,281	6,209
	1982 昭和57年	312,545	4,205	1,318	2,887	20,634	18,045	2,589	5,476
	1983 昭和58年	317,500	4,206	1,450	2,756	19,101	16,903	2,198	4,954
	1984 昭和59年	322,412	4,105	1,514	2,591	19,828	17,566	2,262	4,853
※ 1985	昭和60年	328,387	3,905	1,430	2,475	21,267	17,885	3,382	5,857
	1986 昭和61年	330,895	3,768	1,494	2,274	20,845	17,664	3,181	5,455
	1987 昭和62年	337,084	3,775	1,542	2,233	19,923	18,577	1,346	3,579
	1988 昭和63年	341,505	3,848	1,608	2,240	20,086	17,904	2,182	4,422
	1989 平成元年	346,547	3,445	1,688	1,757	22,241	19,265	2,976	4,733
※ 1990	平成2年	350,330	3,524	1,635	1,889	22,944	21,002	1,942	3,831
	1991 平成3年	354,679	3,580	1,777	1,803	22,713	20,092	2,621	4,424
	1992 平成4年	358,757	3,669	1,890	1,779	23,881	21,617	2,264	4,043
	1993 平成5年	362,088	3,671	1,943	1,728	22,875	21,726	1,149	2,877
	1994 平成6年	365,250	3,918	1,922	1,996	23,680	21,896	1,784	3,780
※ 1995	平成7年	368,651	3,821	2,037	1,784	23,764	21,659	2,105	3,889
	1996 平成8年	370,331	3,852	2,080	1,772	21,890	21,935	△ 45	1,727
	1997 平成9年	372,840	3,898	2,106	1,792	22,995	21,732	1,263	3,055
	1998 平成10年	376,109	3,897	2,160	1,737	22,383	21,555	828	2,565
	1999 平成11年	377,753	3,867	2,223	1,644	21,781	22,118	△ 337	1,307
※ 2000	平成12年	379,185	3,867	2,270	1,597	21,488	21,512	△ 24	1,573
	2001 平成13年	382,837	3,807	2,226	1,581	22,635	19,611	3,024	4,605
	2002 平成14年	387,746	3,786	2,380	1,406	23,410	20,408	3,002	4,408
	2003 平成15年	390,968	3,796	2,416	1,380	21,831	20,299	1,532	2,912
	2004 平成16年	392,810	3,904	2,438	1,466	21,337	20,521	816	2,282
※ 2005	平成17年	396,014	3,616	2,572	1,044	20,544	19,621	923	1,967
	2006 平成18年	398,481	3,668	2,652	1,016	21,511	19,966	1,545	2,561
	2007 平成19年	402,096	3,727	2,704	1,023	21,391	18,884	2,507	3,530
	2008 平成20年	405,243	3,693	2,769	924	20,979	18,756	2,223	3,147

1. 「※」が付された年次は、国勢調査実施年であり、その世帯数・人口は確定数。
2. 国勢調査中間年における人口・世帯数は、国勢調査結果を基準に算出した推計人口。

3 横須賀市の合計特殊出生率の推移



出所：「横須賀市衛生年報」をもとに作成

注) 合計特殊出生率とは、その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が、仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子どもを生むと仮定したときの子ども数に相当する (H21「少子化社会白書」参照)。

- 合計特殊出生率は、2005年に1.20を記録した後、若干回復。
- 直近の2008年は1.25で、全国平均と県平均より低い水準。
- 長期的に人口が維持される合計特殊出生率の水準は、2.07～2.08*。
- 今後も「自然減」の状態が続くと予測される。

* 長期的に人口が安定的に維持される合計特殊出生率の水準を「人口置換水準」という。この水準を下回ると人口が減少することになり、人口学の世界では、この水準を相当期間下回っている状況を「少子化」と定義している。標準的な水準は2.1前後、近年の日本における値は2.07～2.08であるが、男女の出生性比等の違いによって変動する (H21「少子化社会白書」参照)。

4 郊外住宅地の世帯等に関する調査結果(抜粋)

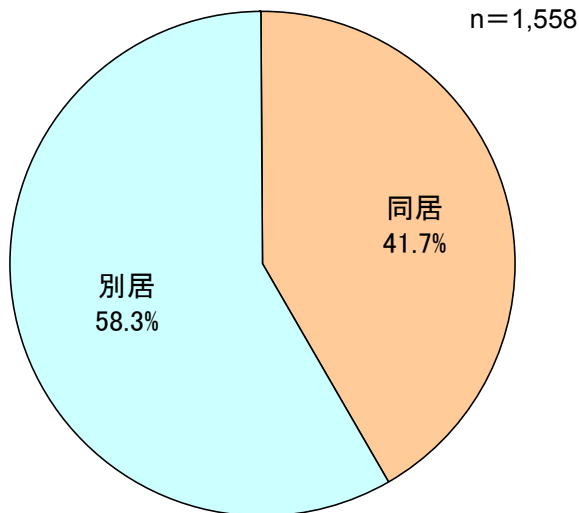
1960年代～70年代に開発が行われ、大量の人口流入が起こった市内の郊外住宅地では、同世代の人が同時期に居住を開始したため、年齢構成に偏りが生じている。これらの地区では、今後、高齢化率がさらに上昇することが予測される。

そこで、来るべき地域社会の姿を見据え、これからの地域のあり方や行政のかかわり方を考えるために、市内の2地区(A地区・B地区)を対象に、地元自治会の協力を得ながら、世帯等の状況に関する調査を実施した。平成20年度に実施したA地区では1,092件、平成21年度に実施したB地区では615件の回答があった。以下は、調査結果のうち、子どもとの同居または別居の状況等に関する設問を一部抜粋したものである。

(1) 子どもとの同居・別居の別

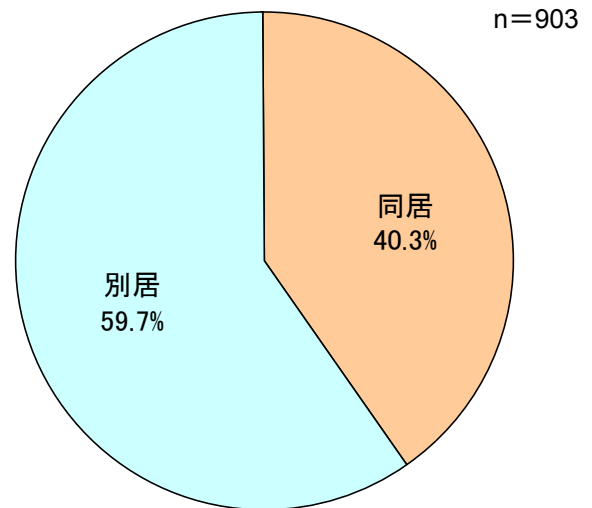
【A地区】

種別	内容	構成比 (%)
同居	転居していない	36.6
	一度転居したのち再び同居した	5.1
	計	41.7
別居		58.3



【B地区】

種別	内容	構成比 (%)
同居	転居していない	32.0
	一度転居したのち再び同居した	8.3
	計	40.3
別居		59.7

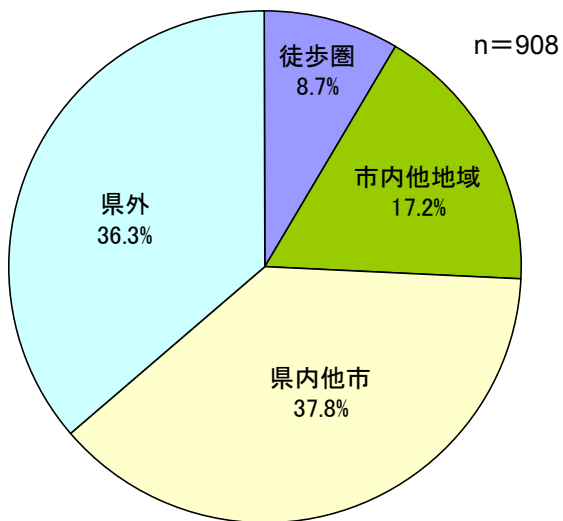


□ 両地区とも、別居している子どもの割合が約6割と高くなっている。

(2) 別居している子どもの転居先について

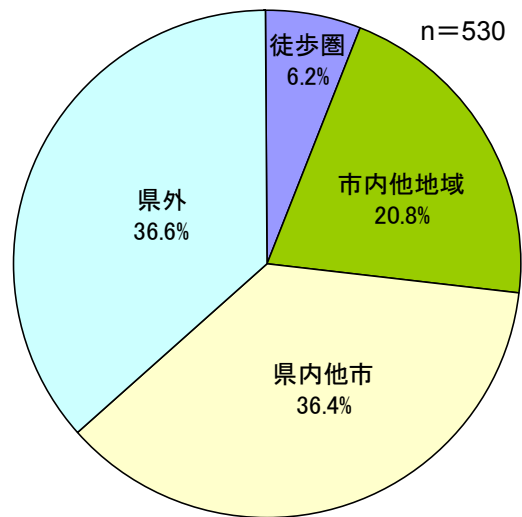
【A地区】

転居先	構成比 (%)
徒歩圏	8.7
市内他地域	17.2
市内計	25.9
県内他市	37.8
県外	36.3
市外計	74.1



【B地区】

転居先	構成比 (%)
徒歩圏	6.2
市内他地域	20.8
市内計	27.0
県内他市	36.4
県外	36.6
市外計	73.0



□ 両地区とも、別居した子どもの転居先については、市外が7割を超えた。

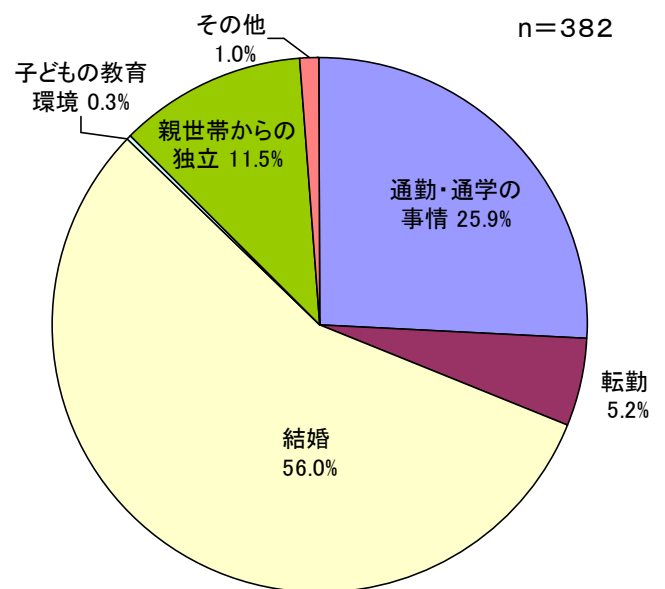
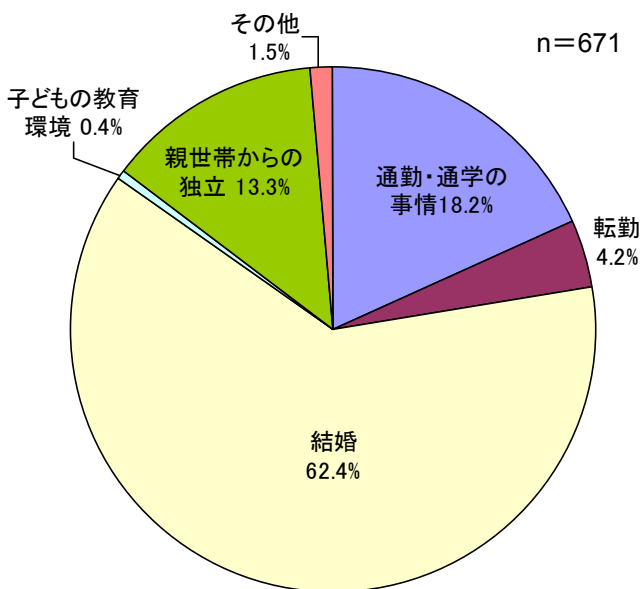
(3) 市外に転居した子どもの転居理由

【A地区】

理由	構成比(%)
通勤・通学の事情	18.2
転勤	4.2
結婚	62.4
子どもの教育環境	0.4
親世帯からの独立	13.3
その他	1.5

【B地区】

理由	構成比(%)
通勤・通学の事情	25.9
転勤	5.2
結婚	56.0
子どもの教育環境	0.3
親世帯からの独立	11.5
その他	1.0



□別居時に市外に転出した主な理由としては、「結婚」と回答した割合が両地区とも突出して高く、約6割となっている。

□本市では、市外に転出する最大の理由は「雇用」とする見解があるが、この結果から見れば、一概には言えない。